



発行・町田市 編集・政策経営部広報課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
市役所の代表電話 042・722・3111
市役所の窓口受付時間 午前8時30分～午後5時
発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)
ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp/>



携帯電話用
QRコード

町田の魅力を発信!

『まちだ自慢』活動が 始まっています

2014年8月に発足して以来、『まちだ自慢』サポーターの皆さんにより「まちだの魅力」を再認識することをテーマとしたミーティングや、情報発信などに取り組んできました。本特集号ではこれまでの活動内容とともに、「今知ってほしい『まちだ自慢』ベスト13」をご紹介します。

問広報課 ☎724・2101 FAX724・1171

『まちだ自慢』サポーターとは？

市民が主役になる「まちだシティプロモーション」の取り組みとして、市の魅力を積極的に情報発信することが主な活動内容です。町田市に在住・在勤・在学の方、町田が好きの方ならどなたでも参加できます。昨年の8月に活動をスタートし、現在261人がまちだの魅力発信中です。



これまでのあゆみ

『まちだ自慢』サポーター募集 2014年7月

広報まちだや町田市ホームページ、地域情報サイト「ぐるたび」などで告知を行いました。



『まちだ自慢』サポーター 認定式・投稿セミナー開催 2014年8月

市内外から応募があったサポーター。当日は96人が参加しました。サポーターを代表して、市内在住のイラストレーター・中垣ゆたかさんが、市長から認定カードを受け取りました。インターネット・口コミ等による情報発信を行っていただくためのセミナーも行いました。



認定カードを受け取る中垣ゆたかさん(左)と石坂丈一市長

『まちだ自慢』ウェブサイトオープン 2014年9月

まちだ自慢のポータルサイト「いいことふくらむまちだ」の開設と、地域情報サイト「ぐるたび」内へ町田市特設ページを公開しました。

『まちだ自慢』ミーティング開催 2014年10月

来訪促進、暮らしやすさ、文化・芸術、スポーツ、多彩な魅力の5つのジャンルに沿って、まちだの魅力を確認・整理しました。



グループに分かれての話し合いの様子

2015年1月

本特集号作成のため、これまで投稿された『まちだ自慢』の中から「ベスト投稿」を選びました。(詳細は4面をご覧ください)

「ぐるたび」操作研修開催 2015年2月

「ぐるたび」を使った投稿や、Myページの作り方を学ぶ研修を行いました。

地域情報サイト「ぐるたび」について

全国各地のご当地情報やクチコミを集めたウェブサイトで、株式会社ぐるなびが運営しています。ご当地グルメを中心に、観光スポット、イベント情報などを、利用者自らが口コミを投稿し情報発信することが可能です。

ぐるたび町田市特設ページはこちらで検索!

ぐるたび 町田

検索



町田市の
こんなところが

紹介されています

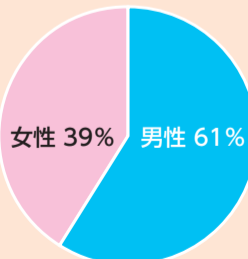
- サポーターおすすめランキング
- 町田観光ニュース
- イベント情報
- ご当地グルメ など

『まちだ自慢』サポーターの紹介ページ
(ぐるたびサイト内)

『まちだ自慢』サポーター登録者概要

(2015年1月現在)

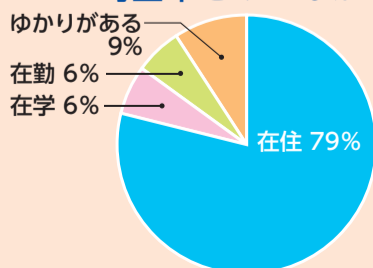
●男女比●



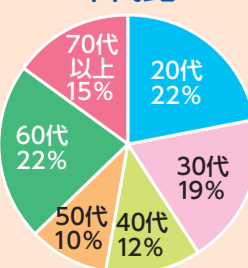
●登録者数●

261人

●町田市とのつながり●



●年代比●



※四捨五入による端数処理を行っているため、合計と合致しない場合があります。

『まちだ自慢』サポーターに聞きました「まちだのココが自慢です！」



身近な場所にあるお店やスポットを投稿しています

柏木 芳夫さん

当初は事務局に直接投稿するつもりでしたが、インターネットを使った投稿方法を慣れるまで何度も質問して教えていただきました。今は、毎月の投稿テーマに対して、最低でも2件は投稿するように努めています。

柏木さんに3つの質問

Q 『まちだ自慢』サポーターに応募したきっかけは？

A 町田に住んでちょうど40年を迎えた記念として、身の周りの情報を発信することで自分にも何か役に立てることがあるかも知れないと思い応募しました。

Q 今まで投稿した中で一番の『まちだ自慢』は？

A 近所にあるラーメン店「博多ラーメン たつ屋」さんです。本当に美味しくて、ぜひたくさんの人に知って欲しいと思って投稿しました。「くるたび」の中にはまだ登録されていないので、携帯電話で写真を撮って、登録するところから行きました。

Q 今後『まちだ自慢』サポーターとしてやってみたいことは？

A やると決めた以上は、2017年までの任期をまっとうしたいですね。町田市はスポーツが盛んなまちなので、スポーツ面でも今後ますます発展してほしいと思っています。

柏木さんイチオシのまちだ自慢



グルメ たつ屋

週1回のペースで通っています。マスターはいつも元気いっぱい。カウンター6席、テーブル3席の家庭的な店です。白濁スープは臭みもなく、必ずすべて飲み干しています。平日のランチタイムは小ライスが無料、麺にはすべて替え玉(細麺)が1杯サービスです。チャーシューと刻んだ細ねぎ、千切りのきくらげが絶品、おろしにんにくと紅ショウガ、一味唐辛子も合いますよ。トッピングはのり、白ネギ、煮卵、チャーシューと豊富です。

☎728-7891 成瀬2298-4



観光ガイドとは違った魅力を感じています

安藤 雅子さん

私は第1期の『まちだ観光案内人』としての活動もしています。観光ガイドはお客様と一緒にコースを巡りながらご紹介しますが、『まちだ自慢』サポーターの場合は自ら発信することで、ピンポイントで「ここがいいよ」とお知らせできるのが魅力ですね。

安藤さんに3つの質問

Q 投稿はどのようにして行っていますか？

A 日々の生活の中で「ここにこんな場所があるんだ」と気づいたものを、インターネットではなく、手書きのレポートという形で事務局に提出しています。

Q 今まで投稿した中で一番の『まちだ自慢』は？

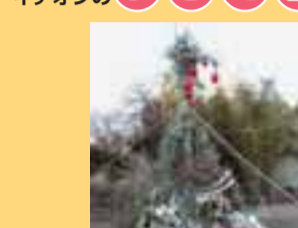
A どれもおすすめしたい気持ちで投稿しているのですが、一つに絞るのはなかなか難しいですね。でも「どんど焼」は特に、これからも残していきたい伝統行事です。

Q 今後『まちだ自慢』サポーターとしてやってみたいことは？

A 「振り抜き井戸」について、もっとたくさんの人に知ってもらいたいです。いつ何が起るかわからないので、振り抜き井戸の存在を知っておくだけでも、有事の時の備えになると思いますよ。

※地下深くまで掘って造られた井戸。市内には災害時協力井戸に指定されているものもあります。

安藤さんイチオシのまちだ自慢



イベント どんど焼

以前、町田で「セノカミ(賽の神)」と呼ばれていた「どんど焼」は、正月飾りや前年の神社のお札、道草、書き初めの習字などを子どもたちが家々を回って集め、竹を中心に円錐形にまとめ、1月14日の夕方に火をつけて燃やすお正月の行事です。住宅が建て込んできた昨今行われなくなっているところが多くなっていますが、野津田では川島、綾部、袋、その他の谷戸毎に今年も例年通り行われました。



町田の魅力を“いいとこどり”で紹介したい

永島 正雄さん

町田在住18年目になりますが、話聞いていた通りの住みやすいまちです。60代になり健康のために始めた趣味のウォーキングの延長上で、まちだ観光案内人養成講座を受講しています。今も多く残る谷戸をはじめ、歩くことで見つかる魅力を発信していきたいです。

永島さんに3つの質問

Q 投稿はどのようにして行っていますか？

A パソコンを習っていますが、まだ複雑なことはできないので、FAXで投稿しています。

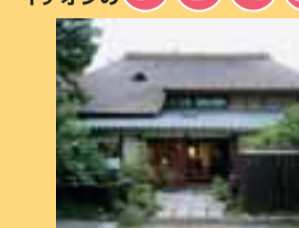
Q 今まで投稿した中で一番の『まちだ自慢』は？

A 定年後に始めた陶芸作品を置かせていただいている、古民家サロン「ギャラリー「可喜庵」」です。私が投稿しているのは、実際につながりがある、もともとたくさんの人に紹介したいと思えるお店が中心です。

Q 今後『まちだ自慢』サポーターとしてやってみたいことは？

A 「歩く」をキーワードに、新たに発見した町田の魅力をみなさんにもっと伝えていきたいと思っています。今は谷戸をめぐるオリジナルのウォーキングコースを思案中です。

永島さんイチオシのまちだ自慢



スポット 可喜庵

先代の住んでいたところを改装して、ギャラリーに利用できる施設としてオープン。白洲邸とも関係の深い工務店の敷地内にある、木のぬくもりをふんだんに使用した、落ち着いた雰囲気の建物です。様々な展示のほか、茶会、発表会、体験教室等でも利用ができます。

☎735-5771 能ヶ谷3-6-22



誰でも楽しめる公園施設やイベントを発信しています

坂井 早苗さん

スポーツ祭東京2013のボランティアをしていたので、その関係で『まちだ自慢』サポーターのことを知りました。町田らしさや季節ごとの楽しみを発信するよう心がけています。

坂井さんに3つの質問

Q 『まちだ自慢』サポーターに応募したきっかけは？

A 小さな力でもお手伝いできることがあればと思い、応募しました。インターネットを使っての情報発信は、自分自身の勉強にもなると考えました。

Q どんな情報を投稿していますか？

A 投稿するためにネタを探すのではなく、日々の生活の中であちこちを歩いている時に見つけたものを、つぶやくような感覚で気軽に投稿しています。

Q 今後『まちだ自慢』サポーターとしてやってみたいことは？

A 町田は様々な施設が充実していて、誰にでも参加できるイベントがたくさんあります。そのような施設やイベントを紹介していきたいです。

坂井さんイチオシのまちだ自慢



イベント 町田天満宮例大祭

境内は露店がいっぱいで街中は町内会の神輿が巡行しています。天満宮の宮神輿は9:30宮出、18:00宮入まで原町境界を巡行します。町内ごとの揃いの半纏、普段とは一味違う鮮やかな兄やん、姉やんが担いでいます。子供神輿は微笑ましくかわいい。百問は一見に如かず…です。天満宮は皆様ご承知のとおり学問の神様「菅原道真公」が御祭神ですから学業成就のお参りも忘れずに。

サポーター32人が選んだ！
今、知ってほしい『まちだ自慢』ベスト13

『まちだ自慢』活動を始めてから寄せられた約100投稿の中から、サポーターが選んだ『まちだ自慢』をご紹介します。

自然・文化・歴史

町田薬師池公園 薬師池

四季彩の杜

カエデは園内各所にたくさん植わっていますが、特にお勧めは菖蒲田脇の小道沿い。そこは特に色づきが良い木が植わっています。少し奥まったところになり、人通りも少なく静か。ちょっとだけ足を延ばす価値は大いにありますよ！

(近藤 ひとみさんの投稿)

町田の秋を感じる一番のおすすめポイントは、薬師池公園のモミジの紅葉ですね。特に、古民家旧荻野家住宅の薬医門近辺の紅葉は、古い建屋と調和して味わい深いです。深まる秋を感じながらの静かな散策におすすめのスポットです。

(田邊 博仁さんの投稿)



市立自由民権資料館

日本が大きく舵を切った幕末から明治にかけて、町田はどうであったか知りたくセミナーに参加しました。常駐の学芸員が詳しく教えてくださいましたので、町田を知りたい方は是非、自由民権資料館に行かれてはどうですか。

(秋元 勲さんの投稿)

☎734-4508 野津田町897

上小山田地域

今なお里山が残る、その自然は素晴らしい地区。1.鶴見川源流の泉周辺は、田中谷戸、善治ヶ谷戸、トバ谷戸等多くの谷戸からの湧水が鶴見川へ注ぎ、約42.5km先の東京湾生妻へ続いてゆく源です。2.緑豊かな谷戸の風景は、ときどき青空をみると鳥が回っています。都会では見られない風景です。(荒井 仁さんの投稿)

芹ヶ谷公園

9月23日、芹ヶ谷公園内に「せりがや冒険遊戯場」がオープンしたので行ってきました。山の斜面を利用して作った手作り遊び場。当日は多くの家族連れ、小学生がいました。山の中で遊ぶ体験ができます。現地にはインストラクターの方もいますので安心です。(山本 勇介さんの投稿)

グルメ

柿島屋

有名な馬肉料理の店です。店内は早い時間からいつもおじさんたちで賑やか。お勧めは、2人で肉鍋1人前に卵を付けてもらい、メンチ、シュウマイ、刺身、煮込みなどから数品注文する。鍋は肉、野菜、豆腐など追加注文できるので足りなければ追加。好みのお酒でほろ酔いに、そして、締めには注文して鍋に入れて食べる。心も体もホカホカになりますよ。私は必ず、メンチを食べます。大人の集まりにいかがでしょうか。(坂井 早苗さんの投稿)

☎722-3532 原町6-19-9ア・柿島2 1階

町田仲見世商店街

仲見世商店街の入口にある「小陽生煎焼頭屋」は、上海名物の「中華料理の小籠包」を売っているお店でたいへん有名です。お店の外観は上海にあるような明るくて洒落た感じ。お店には、いつ行っても沢山の人がいて絶えません。小籠包はどれも美味しいです。お店のカウンターでその場で食べることもできます。お店の料理人も数人いて、皆さん明るいです。

(守重 護さんの投稿)

霜月亭

町田市郊外を流れる鶴見川沿いにひっそりと佇む隠れ家的レストランです。店内は靴を脱いで入るアットホームな感じ。季節感溢れる旬の素材を生かしたフレンチと和の要素がほどよくミックスし、心にも体にもやさしくつろぎを与えてくれるお店です。一度行ったら人はまた行きたくなく…そんな雰囲気を持つおすすめのお店です。ランチ、ディナーとも値段もリーズナブル。完全予約制。(北村 勇さんの投稿)

☎734-2208 野津田町1042

イベント・その他 フェスタ町田

FC町田ゼルビア

「サッカーの街・町田」を代表するサッカークラブを作り、町田の名前を全国に届けるため、ゼルビアを通じて町田を元気にするため、活動しています。現在J3リーグに参戦しています。

©FC町田ゼルビア

市立陸上競技場

1990年に竣工。2009～14年の改修工事により、日本陸連第三種公認および日本プロサッカー J2リーグ仕様リニューアル。陸上、駅伝、マラソン、サッカー、ラグビーの試合などが行われています。芝生広場、ばら広場、わんぱく広場、テニス壁打ち、ジョギングコースなどは市民の憩いの場所。FC町田ゼルビアのホームでもあります。2020年東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地の招致も目指します。(柏木 芳夫さんの投稿)



『まちだ自慢』は、サポーターの投稿を原文のまま掲載しています。

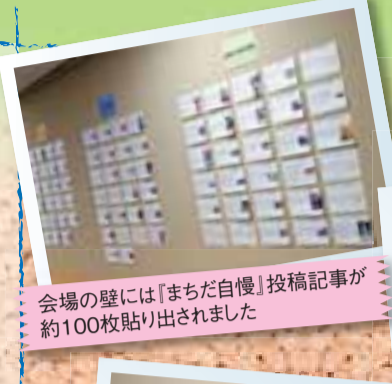
サポーター活動レポート 1月17日開催

『まちだ自慢』ミーティング

1月17日(土)、市庁舎2階の市民協働おうえんルームで、『まちだ自慢』ミーティングを開催しました。この日は32人のサポーターが出席。ミーティングでは本紙「広報まちだ『まちだ自慢』特集号」作成のため、これまでサポーターの皆さんによって投稿された『まちだ自慢』の記事の中から、グルメ、自然・文化・歴史、イベント等、これぞまちだ自慢!と言える「ベスト投稿」をグループごとに選びました。世代を問わずに楽しむことができる「薬師池公園」や、市内外からも多数の団体が参加する「フェスタ町田」など、複数のグループによって選出された投稿がある一方で、町田のことをよく知るサポーターならではの視点で選ばれたものもありました(この日選ばれた投稿の詳細は、本特集号の2面と3面でご紹介しています)。



グループを作ってまずは自己紹介



会場の壁には『まちだ自慢』投稿記事が約100枚貼り出されました



『まちだ自慢』を真剣に読み込むサポーターの皆さん



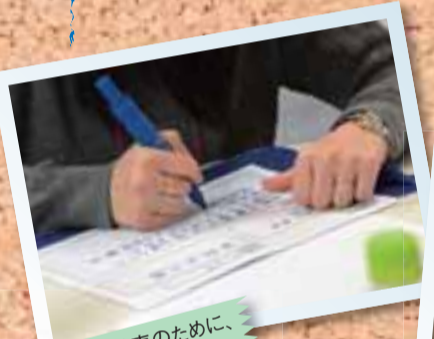
3種類の「町田べんとう」にみなさん興味津々



グループでベスト投稿の話し合い



ランチタイムも会話が弾みます



ベスト投稿発表のために、紙に書いて準備



各グループの代表者が前に出て報告



選ばれた『まちだ自慢』は、グループごとの視点が反映されました

「町田べんとう」でランチタイム

この日、サポーターの皆さんが食べたのは、町田産の古代米や季節の野菜・名産品を使った「町田べんとう」。全5種類の中から「町田四季の味」「町田の釜飯」「鶴っ子」の3種類をいただきました。



- ①「町田四季の味」
- ②「町田の釜飯」
- ③「鶴っ子」

○「町田べんとう」についてのお問い合わせは、町田ツーリストギャラリー(☎850・9311)へ。

『まちだ自慢』サポーター募集中!

『まちだ自慢』サポーターは随時募集しています。皆さんも現在活動中のサポーターと一緒に、まちだの魅力を発信しませんか?

活動内容

- 地域情報サイト「ぐるたび」で町田の魅力を投稿
- 個人のSNSや口コミ、市へ投稿(文書・FAX)などによる積極的な情報発信
- 市内のイベントへの積極的な参加
- まちだ自慢ミーティング(ワークショップ)への参加

応募資格

町田市の情報発信できる18歳以上の方で、市内在住、在勤、在学もしくは町田にゆかりがあり、町田が好きの方

応募方法

町田市ホームページ(『まちだ自慢』サポーターで検索)から応募申込書をダウンロードし、必要事項を記入し、郵送またはFAXで広報課(〒194-8520、森野2-2-22、☎724・1171)へご応募下さい。

サポーターになっていただいた方には認定カードと限定ピンバッジをプレゼント!



認定カード



限定ピンバッジ

